

■はじめに

養護教諭として、いつも大切にしていることがあります。それは、子どもの実態をしっかりとつかむことです。そのために、休み時間に保健室を開放してたわいもない話をしたり、保健室の掲示物を見ている子どもに話しかけたりして、実態把握に日々努めています。

その中で、子どもたちの悪気なく他者を傷付けるような言動が気になり、保健指導を行いたいと考えました。

■保健指導の取組について

指導の時期を考えたときに、清水町の保健師に毎年お願いしている「命の学習」の事前指導を行うときとしました。望ましい人間関係について考える機会を設け、「命の学習」で更に深めてほしいと考えました。

① テーマ

「大切な心と体を守るために」

② 学習内容

心と体を尊重するための「心の距離感と体の距離感」について、実際にありそうな場面を例に出しながら学習を進めていきました。

③ 授業のルールを伝える

お互いのよくないところを指摘し合ったり、ふざけてしまったりすることも考えられたため、子どもたちにしっかりルールを伝えました。

④ ICTの活用について

学級担任のお力を借りながら、「ふきだしくん」というアプリを使用しました。

【このアプリを利用した意図】

子どもたちが「自分で考え、自分の意見を表現する」、「他者の意見に触れ、客観的に自分の言動を見つめ直す」という機会になればと思い、利用しました。記入の際は、無記名で書き込むように伝えました。



清水町立
御影中学校

養護教諭
武藤 織恵

■子どもの様子

ふざけたり冷やかしたりすることなく、真剣に話を聞き、活動に取り組んでくれました。無記名での書き込みにより、いろいろな意見が出てきて、初めて知る価値観や考え方に触れることができたようでした。

■まとめ

この1時間の授業で課題が全て解決したわけではありませんが、それぞれが自分の言動を少し立ち止まっ

て考えるよい機会にはなったと思います。また、授業後のアンケートから健康相談につなげることができたケースもありました。

今後もアンテナを高くして子どもの実態把握に努め、何が課題で、今何を子どもたちに伝えるべきなのか見極め、保健指導を行っていきたいと考えています。

健やかな心と体

～子どもの実態を踏まえた保健指導～